

第 20 回 自治体国際交流表彰 (総務大臣賞 2026 年)

受賞団体評価ポイント

「受賞団体評価のポイント」は、令和 8 年 2 月に実施された「第 20 回自治体国際交流表彰」の審査委員会において、受賞団体に対する各審査委員のコメントをまとめたものである。

総 務 省
一般財団法人自治体国際化協会

陸前高田市（岩手県）

（交流先：クレセントシティ市（アメリカ合衆国））

《評価のポイント》

- ◇ 津波による船の漂着という偶然を契機として始まった交流は、震災の爪痕が生んだ出来事でありながら、ある種の偶然を必然に感じさせるような物語性に富んだものである。「かもめ」号という縁をきっかけに自治体同士の交流が生まれた点は珍しい。
- ◇ 高校生同士の相互派遣をはじめとした若者たちの熱意ある交流が市民のレベルまで広がっている点が印象的である。また、クラフトビールなど新たな取組も生まれており、交流の成果がメディアなどを通じて市民とも共有され、双方の絆が積み重なっている。
- ◇ 防災・減災や震災復興の経験をテーマとした交流は独自性が高く、「絆の力」や災害からの復興経験を互いに学び合いながら、防災意識やまちづくりの向上につながっている。友好交流にとどまらず実践的な交流へと踏み込んでおり、若者たちが自ら行動しながらその大切さを他自治体にも広めていくことが期待される。
- ◇ 東日本大震災は被災地のみならず、日本が主体的に国際社会へ情報発信していくべき大きな課題でもある。この交流がクレセントシティ市というカウンターパートにとどまらず、世界からも注目される事業へと発展し、震災の教訓や「絆」の重要性を広く発信していく取組となることを期待する。



《姉妹都市提携調印式記念祝賀会》



《交流のきっかけとなった高田高校でのプログラム》

お問い合わせ先

陸前高田市商工交流部交流推進課

住 所：〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字下和野 100

電 話：0192-54-2111 FAX：0192-54-3888

E-mail：kouryu@city.rikuzentakata.iwate.jp

U R L：<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/index.html>

茅ヶ崎市（神奈川県）

（交流先：ホノルル市・郡（アメリカ合衆国））

《評価のポイント》

- ◇ 1927 年以來の長きにわたる交流であり、茅ヶ崎市にとって初めての姉妹都市であるホノルルとの関係は、行政・商工会の交流や小学生の派遣事業、アロハビズやフラダンスなどの文化交流も含めた多面的な交流として継続してきた点で、継続性・協働性ともに高く評価できる。こうした長い交流の積み重ねが、今日の地域個性につながっていることに感銘を受ける。
- ◇ 姉妹都市交流以前から市民レベルでの末広がり交流が継続して行われており、官民を超えた多様な主体や団体が参加する活発な交流となっている点は大変意義深い。自らの地域の特性を活かした交流として、地域に根差した広がりを見せている。
- ◇ アロハマーケットや展覧会、音楽教室、語学教室など、市民が気軽に楽しく参加できるイベントが数多く開催されている。また、トイレのサインにアロハシャツの模様を取り入れたり、市職員がアロハビズを実践したり、小学校で体験授業を行うなど、日常の中に交流の要素を取り入れている点も発想が豊かで新鮮である。
- ◇ 多様な民族を受け入れてきたホノルルの環境との親和性から、茅ヶ崎では自然発生的な多文化共生社会が醸成されている点も高く評価できる。住民レベルで広がる多文化共生の好事例として、今後の日本社会や他自治体への手本となる取組として期待したい。



《市内小学校でのハワイゲストによる教育プログラム》



《現地児童との交流プログラム》

お問い合わせ先

茅ヶ崎市企画政策部秘書課姉妹都市担当

住 所：〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電 話：0467-82-1111（内線 1544） FAX：0467-87-6345

E-mail: hisho@city.chigasaki.kanagawa.jp

U R L: <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/profile/1012577/index.html>

湯河原町（神奈川県）

（交流先：パトムタニ県ブンイトー市及び 38 のタイ国内の自治体や大学）

《評価のポイント》

- ◇ 高齢者福祉事業に特化し、タイ国内の多数の自治体や政府機関、大学、市民などとネットワークを結びながら、一対複型の交流事業を展開している点は独自性が高い。行政だけでなく介護事業者やボランティアなど多様な主体が関わる重層的な交流となっており、活発性や協働性の面でも高く評価される。
- ◇ 日本の地域包括ケアの仕組みを活かしながら、コミュニティベース統合型高齢者ケアについて相互に学び合い、その成果を実際の施策に活かしている点が特徴的。タイの多くの自治体の高齢者政策立案に示唆を与える一方で、タイのコミュニティの特徴も吸収し、自らの自治体の施策に反映している点が素晴らしい。
- ◇ クレアの自治体国際協力促進事業（モデル事業）や JICA の草の根技術協力事業を活用しながら取組を発展させ、外部からの評価も得ているほか、タイ全土への展開や周辺国への国際的な広がりも期待される成果を上げている。友好交流にとどまらず、両国の住民の生活の向上につながる実践的なメリットをもたらしている点も高く評価できる。
- ◇ 日本とタイ双方が直面する高齢化という共通課題を軸に、多層型ネットワークを形成して取り組んでいる点には先見性がある。タイの自治体が財政負担を行うなど持続可能性の面でも意義があり、今後は援助資金に依存しない仕組みの構築や、「湯河原モデル」として他自治体へ広がっていくことが期待される。



《ネットワーク加盟自治体署名式》



《日タイ高齢者ボランティア学び合い》

お問い合わせ先

湯河原町

住 所：〒259-0392 神奈川県足柄下郡湯河原町中央2-2-1

電 話：0465-63-2111 FAX：0465-62-1991

E-mail：kikaku@town.yugawara.kanagawa.jp

U R L：<https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>